

# 国語科学習指導案

日 時 令和5年12月20日 4校時  
対 象 第2学年B組 生徒40名  
指導者 教 諭 渡 辺 治

- 1 単元名・学習材 「仁和寺にある法師」の紹介記事を書こう。  
学習材：「仁和寺にある法師－「徒然草」から」（光村2年）

## 2 単元設定の理由

### (1) 生徒について

生徒は小学生の時から音読や暗唱を通して古典に慣れ親しんでおり、中学生になってからは、「竹取物語」や「枕草子」などの学習を通して、古文特有の仮名遣いや言葉づかい、表現技法などについての理解を深めてきた。一方で、古典をどこか遠い世界のものと感じ、今につながる身近なものとしてとらえられない生徒も少なくない。

ここでは、これまでの学習に引き続き古文特有の仮名遣いや言葉づかいなどにいっそう慣れ親しませたい。さらに、古典を今と変わらぬ人間の有様を表したものと認識させ、そこに描かれた人物像や出来事を読み取ることを通して、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりさせたい。

### (2) 学習材について

「徒然草」は随筆という文学形式の中で、兼好法師が独自の世界観を提示した作品である。簡潔でむだがなく、リズム感に満ちた文章の中に無常観が漂い、私たちの生き方にも大きな示唆を与えてくれる。

ここで取り上げる「仁和寺にある法師」は、真面目な法師が、その性格ゆえに失敗してしまった出来事を通して、ささいなことにも先導者は必要であるということを説く章段である。中学生にとっても理解しやすい話であり、古典を身近なものと感じさせ、さらに自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりさせるために適した学習材であると考ええる。

### (3) 言語活動について

ここでは、言語活動として人物紹介の記事を書く活動を取り入れる。紹介記事を書くためには、法師の人物像や出来事を必要性を正確に読み取る必要がある。「書く」活動であるが、その活動を行い記事を完成させることによって、古典を「読む」力を身に付けさせることができると考える。

学習をより身近なものとするために、人物紹介記事のモデルとして、地元紙「南日本新聞」の「黒ヂョカ」欄を活用する。「黒ヂョカ」は、地元のさまざまな人たちの失敗談やユニークな取組などを三百字程度で紹介する記事である。まさに、「仁和寺にある法師」の人物像や出来事などをまとめる形式としてもふさわしいものだと考える。

## 3 単元の目標

- (1) 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。〔知識及び技能〕(3)イ
- (2) 目的に応じて適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
- (3) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性〕

#### 4 単元の評価規準

| 知識・技能                                                        | 思考・判断・表現                                                                                                                                       | 主体的に学習に取り組む態度                                           |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について理解を深めている。(3)イ) | ① 「読むこと」において、目的に応じて適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。(C(1)イ)<br>② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) | 積極的に文章を読んで、内容を理解したり、自分の考えを広げたり深めたりしながら、人物紹介記事を書こうとしている。 |

#### 5 単元の指導計画（全 4 時間）

| 時                                |          |  |  | 10 |               |  |  | 20 |  |  |            | 30 |            |  |  | 40 |         |  |  | 50 |
|----------------------------------|----------|--|--|----|---------------|--|--|----|--|--|------------|----|------------|--|--|----|---------|--|--|----|
| 1                                | 漢字・語句(帯) |  |  |    | 「徒然草」について知る   |  |  |    |  |  |            |    | 学習活動・目標の確認 |  |  |    |         |  |  |    |
| 2                                | 漢字・語句(帯) |  |  |    | 音読・仮名遣い等の確認   |  |  |    |  |  | 人物紹介記事の下書き |    |            |  |  |    |         |  |  |    |
| ③                                | 漢字・語句(帯) |  |  |    | 文章内容の確認       |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    | 紹介記事作成  |  |  |    |
| 4                                | 漢字・語句(帯) |  |  |    | 人物紹介記事(清書)の作成 |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    | 交流・振り返り |  |  |    |
| 【評価場面・方法】                        |          |  |  |    |               |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    |         |  |  |    |
| 知識・技能：主に、学年末考査におけるペーパーテストで評価する。  |          |  |  |    |               |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    |         |  |  |    |
| 思・判・表：主に、第4時における人物紹介記事の内容で評価する。  |          |  |  |    |               |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    |         |  |  |    |
| 態 度：主に、第3時・第4時における学習に取り組む姿で評価する。 |          |  |  |    |               |  |  |    |  |  |            |    |            |  |  |    |         |  |  |    |

#### 6 本時の指導計画（3／4）

##### (1) 目標

下書きを書くなかで生じた疑問点などをもとに、人物紹介記事を書くために必要な人物像や出来事などを解釈することができる。

##### (2) 授業設計の工夫

ア 人物紹介記事を書くために自分が確認すべきことを把握させるために、それぞれが書いた下書きを共有する場面を設定する。

イ それぞれが書いた下書きなどを共有しやすくするために、タブレット（ロイロノート）を活用する。

(3) 本時の実際

| 時間                                   | 学習活動                                                                                                          | 指導にあたっての留意点・評価（★）                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【帯単元】漢字・文法をマスターしよう。                  |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |
| 10<br>(10)                           | ● 漢字小テストを行う。                                                                                                  | ○ 事前に指示を出してあった漢字の中から、書き取り10問の小テストを行う。<br>○ 相互に採点を行わせ、間違った漢字を確認させる。<br>○ 難解語句の意味の確認等を行う。                                                                                                                                 |
| 1 学習の見通しをもつ。(全体)                     |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |
| 10<br>(20)                           | ● 本時の学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。<br><br>疑問点を解決して、人物紹介記事の完成をめざそう。<br><br>● 下書きを共有し、人物紹介を完成させるために解決すべき疑問点などを確認する。 | ○ 音読を行わせ、前時までの復習をしたあと、本時の学習の流れを確認させる。<br><br><br>○ 下書きの共有をしやすいように、タブレット（ロイロノート）を活用する。<br>○ 解決すべき疑問点などを、例えば「出来事」「人物像」「作者の考え」のように整理する。                                                                                    |
| 2 文章の内容（人物像、出来事など）を確認する。(個人・グループ→全体) |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |
| 20<br>(40)                           | ● 疑問点などについて、個人やグループで解決を図る。<br><br>● 個人やグループで考えたことを全体で共有し、文章の内容を確認する。                                          | ○ 表記等の文章内容以外の疑問点については、先に全体で確認する。<br>○ 協動的に解決が図れるように、グループ活動の在り方などを工夫する。<br>○ 特に、次のような語句を中心に、文章の内容を確実に押さえさせる。<br><br>人物像：「一人」「徒歩より」「かばかり」<br>出来事：「山までは見ず」「本意」<br>考 え：「先達」<br><br>★ 文章に描かれている法師の人物像や出来事を正しく解釈しているか。〔思・判・表〕 |
| 3 下書きを見直し、人物紹介記事の清書に取り組む。            |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |
| 10<br>(50)                           | ● 確認した文章の内容をふまえて下書きを見直し、清書に取り組む。                                                                              | ○ ここまでの学習を踏まえて、下書きを削除修正したり、清書に取り組ませたりする。<br>○ 清書は、手書きで書かせる。<br>○ 次時は、清書を完成させ、交流することを確認する。                                                                                                                               |